

塘研究室現地調査報告 02

5月8日に裏磐梯にてウチダザリガニの食性解析用試料採集場所選定のための予備調査とフロリダミズヨコエビの食性解析のための採集を実施しました。これは塘研究室の大学院生、難波君の研究のための調査で、内藤さん、大学院生の武田君、塘が同行しました。

外来の水生植物が繁茂する池とあまり繁茂しない池、という視点でウチダザリガニが生息するとの情報が得られた2つの池、曲沢沼（コカナダモが繁茂する池）、休暇村裏磐梯裏の池（水生植物があまり見られない池）にカニカゴをいくつか仕掛け、ウチダザリガニが入るかどうかを調べました。

結果としてどちらの池でもウチダザリガニは採れませんでした（曲沢沼に流入する曲沢ではDフレームネットで簡単に採集することができたのですが）。後日（5月20日）、裏磐梯地域でウチダザリガニの調査を実施されてきた福島市小島の森の五十嵐さんにお話を聞きに行ったところ、春先は水温が低いため動きが鈍く、止水では採集しにくいこと、エサは誘因効果があるものの方が良いこと（今回は魚肉ソーセージでした）、個体数が多いのは被陰される場所で、トラップを仕掛ける場合は陽が直接当たる場所よりもそのような場所の方が良いこと、などのアドバイスを頂きました。次回からの採集場所選定の参考になる貴重なコメントをたくさん頂きました。

北米からの外来種で、裏磐梯では流水・止水の別なく広く分布しているフリロダマミズヨコエビの食性については、長瀬川の個体に関する安定同位体比分析の結果（ δN の値がやや高い）が得られているので、今後は止水域でのデータを取って比較しようと考えています。今回は桧原湖畔探勝路沿いの止水域でサンプルを得ましたので、今後はサンプルの安定同位体比解析を進める予定です。



休暇村裏磐梯裏での調査（トラップ設置）



曲沢沼での調査（トラップ設置）



桧原湖畔探勝路付近の池での採集 1



桧原湖畔探勝路付近の池での採集 2